

「ツマジロクサヨトウ」に注意！

スイートコーンやさとうきびで発生

暖かくなってきて、県内においてスイートコーンやさとうきびで、「ツマジロクサヨトウ」の発生が確認されています。**今後、気温の上昇とともに被害が拡大する可能性があります**ので、早期発見・早期防除(農薬散布等)をお願いします。

ツマジロクサヨトウの特徴

①飛翔距離が長い ②繁殖力が強い



- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150～200個
- ・生涯産卵数は最大1000個



- ・幼虫が葉、茎、子実を食害



幼虫
(頭部拡大)



幼虫(尾部拡大)



若齢幼虫

幼虫の食害による被害



食害されたさとうきび葉身



幼虫は葉鞘に潜む



葉鞘内の多量の糞

防除対策

(1)早期発見

畑を定期的に見回り、幼虫の早期発見に努める。

(2)早期防除

疑わしい幼虫が確認された畑では、県関係機関(普及センターや病害虫防除技術センター)や市町村等に連絡し、農薬等で防除を実施する。その際、穂や葉の内側に潜り込んでいる幼虫にも届くように、しっかりと散布する。

※農薬については、裏ページを参照して下さい。

ツマジロクサヨトウに対しては 以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数使用量、使用回数を守ること、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

代表的な農薬

○スイートコーン

品名	使用方法	使用時期	散布液量(10a)	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
プレバソンフロアブル5	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
フェニックス顆粒水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
デルフィン顆粒水和剤	散布	発生初期但し、 収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—

○さとうきび

品名	使用方法	使用時期	散布液量(10a)	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
スミチオン乳剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
サムコルフロアブル10	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	5000倍	3回以内

※さとうきびについては、発生後の農薬防除は「さとうきび増産基金」での支援対象となるので、防除前にさとうきび生産振興協議会等に確認すること。

上記以外にも使用可能な農薬があるので、他の農薬を使用する場合は、下記HPでの農薬リストを参照すること。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-32.pdf

○問合せ先

北部農業改良普及課	TEL : 0980-52-2752
中部農業改良普及センター	TEL : 098-894-6521
南部農業改良普及センター	TEL : 098-889-3515
宮古農業改良普及課	TEL : 0980-72-3149
八重山農業改良普及課	TEL : 0980-82-3497
沖縄県病害虫防除技術センター	TEL : 098-886-3880
沖縄県営農支援課	TEL : 098-866-2280

○「ツマジロクサヨトウ」防除マニュアル掲載先

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html